



聖書の言葉

平和を実現する人たちは  
幸いである。  
その人たちは  
神の子と呼ばれる。  
マタイによる福音書5章9節

# シャロームタイムズ

2016年8月14日（日）発行

宗教法入

野毛山キリストの教会

〒220-0032 横浜市西区老松町30番地

## 絵本 さがしています 作 アーサー・ピナード 写真 岡倉禎志

この本には14点の「もの」が登場します。  
それは、作者アーサー・ピナードが平和記念資料館の地下収蔵庫にある2万1千点の中から選んだものです。  
14点の「もの」にはそれぞれのプロフィールがあります。  
そしてそのものたちは声は発しなくとも多くのことを語りかけています。

ヒロシマを知っているものたちはさがしています。  
大切に人々を、未来に続く道を。

おはよう おはよう  
おはようございます

あなたにとって「いま」はなん時？  
わたしにとって「いま」はいつでも  
あさの8時15分。  
もともと わたしの  
ながいばりと みじかいばりは  
「おはよう」のあと ちくたくちくたく  
「こんにちは」「こんばんは」  
「おやすみ」へまわっていました。  
ヒロシマのにぎやかな とこやさんの  
かべにかかっていた。  
わたしは みんなに  
「なん時」っておしえるのです。  
でも、8月6日のあさ8時15分に  
ピカアアアアッときました。  
あの光は わたしの顔の「1」にも  
「2」にも「3」にも「8」や  
「9」の数字にもささってきました。  
わたしの「いま」はとまったのです。  
「おはよう」の  
あとの「こんにちは」を  
わたしは さがしています。

いただきます いただきます

レイコという 女の子は  
ぼくの ふたを ばかっつと あけて  
ごはんを 豆を たべてくれるはずだった。  
12さいの レイコちゃんは ヒロシマ  
たてものを こわす しごとを  
毎日 やらされていた。  
8月6日のあさ げんばに いったら  
ピカアアアアッと 光った。  
ぼくは ごはんをぎゅつとまもろうとした。  
なのに ネットがねじこんで  
なかまで 放射能はじわつと  
しみてきたんだ。  
もう ごはんは  
たべてはいけな。い。  
それでも ぼくはさがしているんだ。  
レイコちゃんがいえなかつた  
「いただきます」を。

この本の作者のアーサー・ピナードはアメリカの学校で教育を受け、原爆投下についての必要性と正当化を繰り返して教えられるさうだ。その頃は「ピカドン」という言葉も知らず、Atomic Bomb(原子爆弾)あるいはNuclear Weapon(核兵器)と使っていたが、日本に來りし、平和記念資料館で被爆者の話を聞き、「ピカドン」に出会ったさうだ。原子爆弾も核兵器も核開発をすすめた人たちがつくった呼び名だが、「ピカドン」は生活者が生み出した言葉であり、その英語が存在しないことに課題を背負った思いがし、「ピカドン」から多くのことを教わったさうだ。そして声なき「ものたち」がカタリベとなり、読者にはっきり聞こえる言葉を発するさうこの本「さがしています」を作った。

の声を聴いたわたしたちが次にどうカタリベとなつていっただいのか、考えたいと思います。



ひろしま ほんがけい なかじまほんまち  
広島さつての繁華街だった中島本町。  
その角にあった濱井理髪店の壁で、  
時を刻んでいた。主人の濱井二郎さ  
んはバリカンの名手として知られ、ハ  
イ生まれの妻イトヨさんは抜群のファ  
ッションセンスの持ち主だった。8月6日  
の朝、爆心地から200mの店舗と住宅に  
いたのは、二郎さん、イトヨさん、長女  
の弘子さん、長男の玉三さん。4人の形  
見として、親戚が瓦礫からこの時計を  
掘り出した。宮内村にいた末っ子の徳  
三さんがざつと大切に持っていた。  
(時計 濱井徳三寄贈)



この弁当箱の底の裏に「渡辺」という  
苗字が小さく刻んである。広島市の立  
第一高等女学校に入った渡辺玲子  
さんは、毎朝これを持って出かけた。た  
だ、学校より建物疎開の現場へ向かう  
ことが多く、8月6日の朝も労働させられ  
ていた。爆心地から550mの現場だ  
ったが、玲子さんの遺体は見つからな  
かつた。炭化したご飯と緑豆の入ったア  
ルミの弁当箱だけが、8月7日に姉の桂  
子さんによって発見された。そもそ箱に  
針で苗字を刻んだのも桂子さんだつた。  
(弁当箱 渡辺茂寄贈)

## 広島 (ヒロシマ)

1945年(昭和20年)8月6日午前8時15分。  
原子爆弾リトルボーイは、第33代アメリカ  
合衆国大統領ハリー・S・トルーマンの  
原子爆弾投下の大統領命令を受けたB-29  
(エノラ・ゲイ)によって投下されました。

この1年に亡くなった方 5511人  
計303195人

## 長崎 (ナガサキ)

広島の日後の1945年8月9日午前11時2分、  
B-29(ボックスカー)が長崎市に原子爆弾  
ファットマンを投下しました。

この1年に亡くなった方 3487人  
計172230人

## 子ども代表「平和への誓い」

「人が焼けるにおいがした」「ある者は、肌が溶けて人間には見えなかつた」原子爆弾が落とされた広島の様子を、語り部の方は語ってくれました。思い出したくない、胸が張り裂けさうだ。被爆された人の辛さは、いつまでも、いつまでも終わることはありません。被爆者の思いや被爆の事実を自らの体験のように、想像するのです。聞きたくても、聞くことができなくなる日が近づいています。一瞬で街がつぶれ、日常や夢を踏みにじられた  
昭和20年(1945年)8月6日午前8時15分の出来事を、私たちは、もっと、知りたいのです。もっと、伝えたいのです。悲しみや苦しみを乗り越えた人々の努力によって、広島は青く澄んだ空の下、色とりどりの花が咲く街に復興しました。この広島に、今年も、世界各地から、多くの人が訪れています。あの日の事実を知るために、平和記念公園を巡り、平和記念資料館を見学し語り部の方の話を聴き、原子爆弾の恐ろしさを実感しています。そして、「あの日の出来事を伝える」と約束してくれた人たち、平和の広がりを感じました。私たちは、待つだけのだけではいけないのです。誰が、平和な世界にするのでしょうか。夢や希望にあふれた未来は、ぼくたち、わたしたち、一人一人が創るのです。私たちには、被爆者から託された声を伝える責任があるのです。一人一人が、自分の言葉で、丁寧な、戦争を知らない人へ 次の世代へ 世界の人々へ 命の尊さを 平和への願いを 私たちが語り伝えていきます。

平成28年(2016年)8月6日

子ども代表

広島市立竹屋小学校6年 中奥垂徳  
広島市立亀山小学校6年 青木優太



平和の握手

主の平和がありますように

